

大気環境学会の最近の取組紹介

1. 学会の紹介
2. 学会入会へのお誘い～地方環境研究所等委員会より～
3. 窒素循環に関する研究動向

2023年10月31日 水・大気連携セミナー
東京都環境科学研究所 上野広行

1. 学会の紹介

大気環境学会の歴史

- 1959: 大気汚染研究全国協議会(任意団体)の設立
- 1963: 厚生省・通商産業省の認可を得て社団法人化
- 1978: 大気汚染研究協会に改称
- 1979: 日本学術会議に登録
- 1995: 社団法人大気環境学会に改称
- 2012: 公益社団法人大気環境学会に移行



学会活動の活性化と基盤強化を目指します
会長：伊豆田 猛(東京農工大学)

1. 学会の紹介

会員数(2023年6月末時点)

正会員: 703名(2009:1314名)

学生会員: 108名

法人会員A: 112団体

法人会員B: 47団体

賛助会員: 15 団体

課題: **会員数の長期減少傾向**
国内学会誌への投稿数減少
→ **学会の魅力向上**
会員数の増加
気候変動や自然再興への対応
他機関との連携

1. 学会の紹介

学会の委員会

- (1) 倫理委員会
- (2) 編集委員会
- (3) 国際交流委員会
- (4) 学会賞選考委員会
- (5) 論文賞選考委員会
- (6) 広報委員会
- (7) 産官学民委員会
- (8) AJAE委員会
- (9) 年会委員会
- (10) 地方環境研究所等委員会
- (11) 「大気環境未来60」募金委員会
- (12) 記録編纂委員会

1. 学会の紹介

学会の活動

- **年会(研究発表会)の開催**

- **学会誌の発行**

 - **大気環境学会誌**(電子ジャーナル)を隔月で年6回発行

 - **英文誌AJAE** (Asian Journal of Atmospheric Environment) も発行

- **支部活動**

 - 北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州

- **分科会等活動**

 - 植物、都市大気環境モデリング、酸性雨、環境大気モニタリング、健康影響、モビリティ環境、室内環境、放射性物質動態、臭気環境、都市大気エアロゾル、気候変動研究会

- **国際交流・日中韓交流**

 - 韓国大気環境学会および中国環境科学学会大気分会と学術交流

2. 学会入会のお誘い～地方環境研究所等委員会より～

会員について

対象:学会の設置目的に賛同する人(研究者、会社員、行政関係者、市民、学生等)なら**どなたでもOK**

会員の特典:

- ・年会に**会員価格**で参加でき、**研究発表も可能**
- ・「**大気環境学会誌**」(電子ジャーナル 年6回、隔月発行)の**配付が受けられ、同誌に投稿することも可能**

主な会員の種別と年会費:

- ・**正会員 10,000円** ・**学生会員 5,000円**
- ・**法人会員A(学会誌購読会員) 10,000円**
- ・**法人会員B(機関・法人会員) 30,000円** 年会参加、発表、投稿等3人(件)までOK
- ・**賛助会員 50,000円** 年会参加、発表、投稿等5人(件)までOK

2. 学会入会のお誘い～地方環境研究所等委員会より～

地環研、行政職員の学会参加への制約

- ・学会についてよく知らない
- ・個人年会費、学会参加費、旅費等の支出ができない
- ・学会発表は職務になるが、学会活動は職務と認められない
- ・異動があるので参加しにくい
- ・学会発表はもちろん論文も書いたことが無く敷居が高い

2. 学会入会のお誘い～地方環境研究所等委員会より～

地方環境研究所等委員会として…

- ・学会活動を知ってもらう
- ・会員にならないと得られない**メリットが必用**
- ・**初心者向けのコンテンツ**などの充実

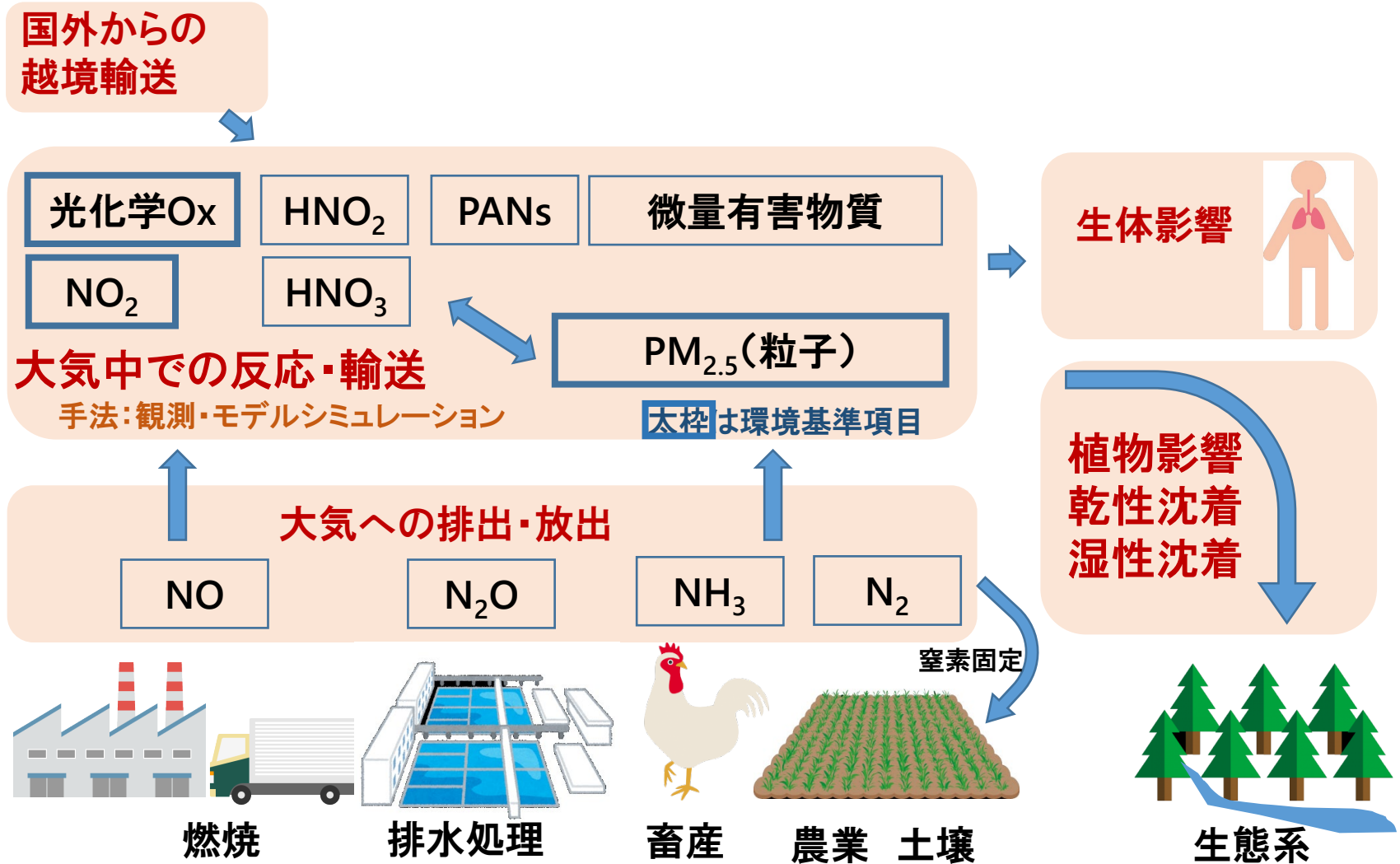
2023年2月初心者向け無料オンラインセミナーを実施

- ①環境基準ってどうやって決めたの？
- ②光化学オキシダント(Ox)って何が問題なの？ 海外の状況と比べてどうなの？
- ③PM2.5成分分析を自前で行うポイントは？～試料採取から無機元素分析まで～
- ④データ取扱いの基本のキ(有効数字・標準偏差ってナニ？)

- ・ご要望ありましたら是非アンケートにお願いします

3. 窒素循環に関する研究動向

大気環境における窒素化合物関連の研究分野



3. 窒素循環に関する研究動向

大気環境学会誌から見た窒素関連研究の変遷

※個人の感想です

酸性雨 森林や植物、土壌等生態系への沈着

微量有害(ニトロ)化合物

NO_xと光化学O_x関連の反応(大気化学)
アンモニウム塩等のガス-粒子反応

HONO等分析技術の高度化
シミュレーションの精緻化

地球環境N₂Oの焼却施設からの排出

自動車からのNO_x排出、沿道の濃度分布等

工場からのNO_x排出 悪臭アミン等

NO_x測定法

NO_x生体影響

1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

2020年代

3. 窒素循環に関する研究動向

2023年会における窒素化合物関連の発表件数()内

国外からの
越境輸送(4)

※一般発表・ポスター発表計219件より
※分類・件数は必ずしも正確ではありません

